

すべての教室がおはなしの部屋に！

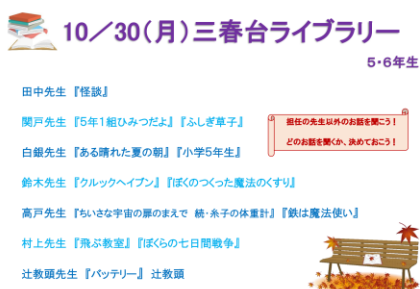
1 活動の概要

創立 72 周年を迎える関東学院小学校は草創期から読書活動に力を入れ、現在は「ほんの学校」をモットーにさまざまな読書活動に取り組んでいます。全学年毎週 1 時間ずつあるライブラリーの授業、教員が語るおはなし会、「関東学院小学校が選んだ 100 冊の本」の活用、作家を招いておこなう「ほんの学校読書会」など子どもと本をつなぐさまざまな活動があります。その一つ、校内すべての教室で全校児童が一斉に読み聞かせに親しむ時間「三春台ライブラリー」をご紹介します。

2 活動の状況、実際

「三春台ライブラリー」は、学校丸ごとおはなしの部屋になって、教員全員が校内各教室に分かれて本の読み聞かせや紹介をするイベントです。教員が紹介する本の一覧を低・中・高学年の 3 グループに分けたポスターで掲示し、それを見て子どもたちは行きたい教室を選びます。朝のホームルームの時間、希望した教室に子どもたちが集まると、先生がおすすめする本の紹介の始まりです。20 分ほどの短い時間ですが、それぞれの本の世界を楽しみます。終わったあとは、ちがう教室で本の紹介を聞いた友だちと情報交換をしているすがたがあちこちに…。

また、同じ週に行うブックフェア（子どもの本の専門店の協力で行う約 300 冊の本の展示・販売会）にも、三春台ライブラリーで紹介した本を並べることで、子どもたちの「読みたい」思いに応えられるようにしています。ブックフェアは保護者にも声をかけています。家庭の協力を得ることが児童の読書環境の充実につながると考えているからです。



5.6 年生用ポスター（2023 年度）三春台ライブラリーの時間 ①

三春台ライブラリーの時間②

3 指導者のコメント

三春台ライブラリーでは、子どもたちはどの先生がどんな本を紹介するのかじっくりとポスターを見て、聞きに行く部屋を選んでいきます。また、終わるとすぐに学校図書館に来て紹介された本をさがしたり、ブックフェアでその本をおうちの人にねだったりするのを見て、読書意欲が高まっているのを感じます。（司書教諭）



ブックフェアの様子